

# ダイヤモンド工具メーカー 2社のサプライチェーン 国内に延べ1,017社

97.1%が中小企業、取引額総計694億円

## 戦略的投資イニシアティブ「人工ダイヤの製造プロジェクト」 サプライチェーン分析



本件照会先

箕輪 陽介(調査担当)  
帝国データバンク  
東京支社情報統括部  
03-5919-9341(直通)  
情報統括部:tdb\_jyoho@mail.tdb.co.jp

発表日

2026/05/25

当レポートの著作権は株式会社帝国データバンクに帰属します。  
当レポートはプレスリリース用資料として作成しております。著作権法の範囲内でご利用いただき、私的利用を超えた複製および転載を固く禁じます。

## SUMMARY

2026年2月、日米両政府は総額約5,500億ドルとされる対米投資の第一弾のひとつとして、「工業用の人工ダイヤの製造プロジェクト」を発表。同プロジェクトによって、中小を中心として国内企業への波及効果も期待される。政府資料に例示されているダイヤモンド工具メーカー「ノリタケ」「旭ダイヤモンド工業」の2社を頂点とするサプライチェーンは、国内企業延べ1,017社にのぼり、うち97.1%が中小企業。もたらされる取引額は総計で694.5億円にのぼる。

株式会社帝国データバンクは、保有する「商流圏」データ(※)をもとに、ダイヤモンド工具メーカー「ノリタケ」「旭ダイヤモンド工業」の2社に対して部品などのモノやサービスを提供する周辺産業をサプライチェーン企業とし、調査・分析を行った。

※「商流圏」データとは……帝国データバンクが特許を取得した「個別企業間の全取引シェアを推計するモデル」を用いて、任意の頂点企業における商流上(サプライチェーン)の傘下企業や取引企業において、各社の売上高が頂点企業にどの程度依存しているかを算出(特許取得済)したデータの総称。詳細は最終頁を参照。

## 国内延べ 1,017 社のサプライチェーン企業に波及効果

2026年2月、日米両政府は総額5,500億ドルに及ぶ対米投資の第一弾として、「自動車・航空・半導体の部素材の加工に使用する工業用の人工ダイヤモンドの製造プロジェクト」など3つの投資対象を発表した。今回分析する工業用人工ダイヤモンドの製造に関しては、両国ともに特定国への依存度の高い分野であり、経済安全保障の観点などからも、日米が協力してサプライチェーンを作り上げることに大きな意義を見出している。政府資料には、プロジェクトに際して購入に関心を寄せるダイヤモンド工具メーカーとして、いずれも東証プライム上場のノリタケと旭ダイヤモンド工業が例示されており、これらに製品・サービスを提供する国内のサプライチェーン企業にとってもビジネスの拡大が見込まれる。

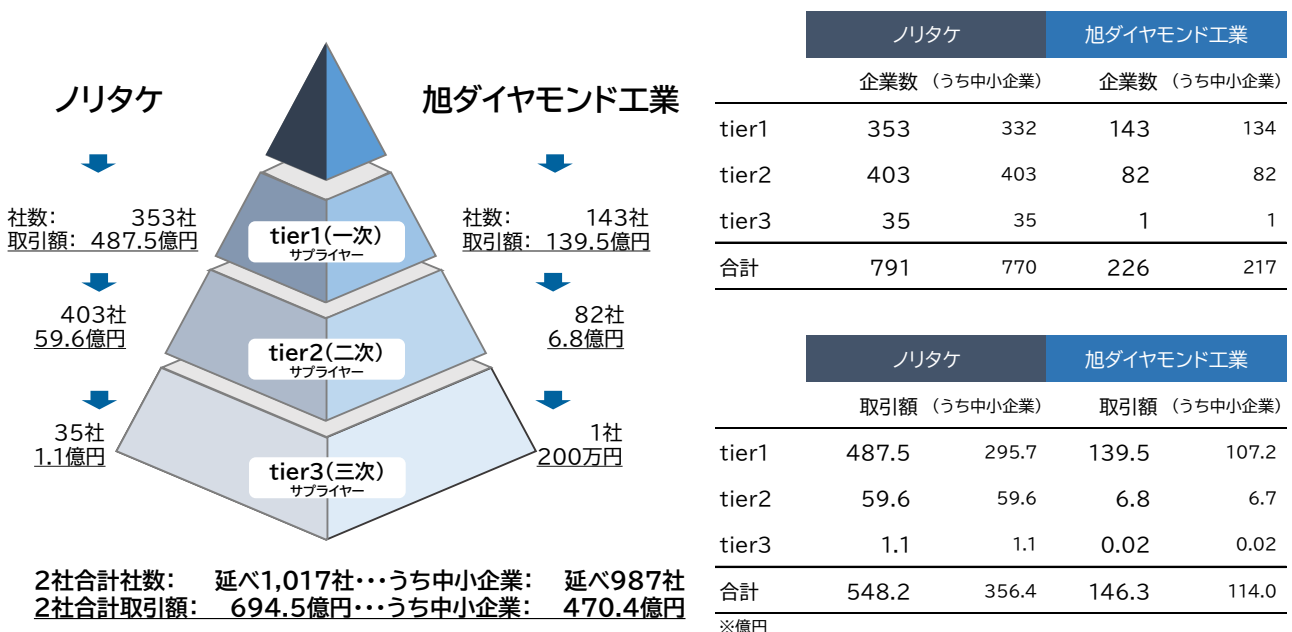
帝国データバンクが保有する「商流圏」データ（※詳細は最終頁を参照）を用いて分析したところ、2社を頂点とするサプライチェーン企業は、国内に延べ1,017社（2社合計の社数は延べ数<重複あり>）あることが判明した。うち97.1%にあたる987社が中小企業であり、政策の意図する国内企業への波及効果にも期待が寄せられる。直接取引のあるtier1（一次取引先）は延べ496社、tier2（二次取引先）は延べ485社、tier3（三次取引先）は延べ36社あることが判明した。

また、延べ1,017社による2社への取引額の合計は694.5億円にのぼり、このうち中小企業との取引額は470.4億円。本プロジェクトにより2社の事業が拡大すれば、これらサプライチェーン企業との取引額（もたらされる売り上げ）も伸長する可能性があるとともに、希少性の高い強固なサプライチェーンの一角を担うこととなる。

ノリタケのサプライチェーン企業は、tier1が353社（取引額487.5億円）、tier2が403社（同59.6億円）、tier3が35社（同1.1億円）で合計791社、取引額の合計は548.2億円。旭ダイヤモンド工業のサプライチェーン企業は、tier1が143社（同139.5億円）、tier2が82社（同6.8億円）、tier3が1社（200万円）で合計226社、取引額の合計は146.3億円。

### ノリタケと旭ダイヤモンド工業のサプライチェーン①

「ノリタケ」と「旭ダイヤモンド工業」のサプライチェーン社数と取引額  
※2社合計の社数は延べ数（重複あり）



## ノリタケは「中部」、旭ダイヤモンド工業は「関東」が中心

ノリタケと旭ダイヤモンド工業のサプライチェーン企業を地域別にみると、社数では「中部」が延べ517社(ノリタケ:461社、旭ダイヤモンド工業:56社)と最大で、取引額は338.1億円となり、こちらも最も大きい。ノリタケの拠点が名古屋市西区にあり、同社のサプライチェーン企業の39.1%に当たる309社が「愛知県」の企業であるほか、tier1企業353社のうち約半数の162社が同県に所在している。

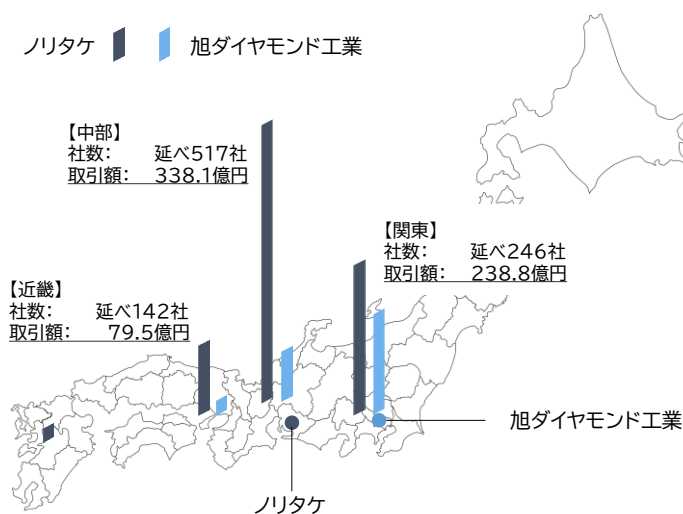
次いで大きいのは、「関東」で社数は延べ246社(ノリタケ:116社、旭ダイヤモンド工業:130社)、取引額は238.8億円となった。東京都千代田区に拠点を置く旭ダイヤモンド工業のサプライチェーン企業が「東京都」に多い(60社)が、ノリタケのサプライチェーン企業も都内に73社が確認できた。

都道府県別にみると、ノリタケは「愛知県」「岐阜県」「三重県」など、中部地域に取引先網が広がっている。一方で旭ダイヤモンド工業のサプライチェーン企業は、「東京都」「神奈川県」や、子会社のある「山梨県」「千葉県」など関東近郊に多い。

業種別にみると、2社のサプライチェーン企業で最も多いのは「製造業」の延べ455社、次いで「卸売業」の同221社、「建設業」の同119社となった。細分類別では「一般貨物自動車運送業」が54社と最多だがtier2が多く、tier1でみると「機械工具製造業」の18社が最多となった。

### ノリタケと旭ダイヤモンド工業のサプライチェーン②

主要な地域別社数と取引額(棒グラフ)



都道府県別社数・上位10都府県

都道府県	ノリタケ		旭ダイヤモンド工業		
	企業数	取引額	企業数	取引額	
愛知県	309	196.7	東京都	60	55.7
岐阜県	74	33.1	神奈川県	39	11.3
東京都	73	122.8	山梨県	18	36.5
大阪府	56	17.0	大阪府	18	6.5
三重県	36	30.3	千葉県	15	10.3
福岡県	30	6.5	三重県	13	6.0
滋賀県	24	42.2	愛知県	12	4.5
兵庫県	21	4.3	埼玉県	8	0.9
静岡県	18	6.7	兵庫県	8	2.8
神奈川県	17	25.3	長野県	7	0.6

※取引額は単位:億円

2社合計の業種社数(延べ)×階層

	2社合計の業種社数(延べ)×階層			総計
	tier1	tier2	tier3	
建設業	31	77	11	119
製造業	251	192	12	455
卸売業	136	84	1	221
小売業	4	2		6
運輸・通信業	21	63	8	92
サービス業	50	47	4	101
不動産業		17		17
その他	3	3		6
合計	496	485	36	1,017

2社合計の業種細分類別社数(延べ)・上位×階層

	2社合計の業種細分類別社数(延べ)・上位×階層			総計
	tier1	tier2	tier3	
一般貨物自動車運送業	7	42	5	54
製缶板金業	7	20	1	28
機械工具製造業	18	5		23
機械工具卸売業	11	12		23
その他の一般機械器具卸売業	9	13		22
金属加工機械用部品製造業	7	13	1	21
内装工業	1	17	1	19
各種機械・部品製造修理業	11	7		18
その他の特殊産業用機械製造業	11	6		17

## 【参考】「商流圏」データとは

帝国データバンクが特許を取得した「個別企業間の全取引シェアを推計するモデル」を用いて、任意の頂点企業における商流上(サプライチェーン)の傘下企業や取引企業において、各社の売上高が頂点企業にどの程度依存しているかを算出(特許取得済)したデータの総称。

頂点企業の直接取引先(tier1)だけではなく、頂点企業と直接取引がないtier2以降の間接取引でも売上高依存度を把握でき、頂点企業との取引額を推計できる点が特徴となっている。

このデータを活用することで、頂点企業における業績の変動(不正などにより生産数量が大幅に減退する場合や新商品の製造開始に伴う業績向上など)によって、傘下の各企業がどの程度落ち込むか、あるいはどの程度業績が向上するかなどを算出することができ、地域における波及効果を測る基礎資料として活用することを想定している。

活用方法として、売り上げが増加するような補助金などの企業支援を行った際に、その支援による直接的な効果だけではなく、その企業の仕入先への波及効果を試算することが可能である。また地域を絞ることで、自治体内の企業に絞った波及効果を試算することができ、より波及効果の高い企業への支援につなげることもできる。

そのほか、特定分野や技術などに特化した技術力の高い企業や、ニッチトップ企業、地域未来牽引企業を把握するための手掛かりとなるデータベースとして活用もできる。

